

<個別案件確認表（東京都）>

東京都担当確認年月日 平成 30 年 3 月 22 日
東京都作業部会確認年月日 平成 30 年 3 月 22 日

事業名 IBC/MPC の施工

案件名 IBC/MPC 整備工事

東京ビックサイトで行うIBC/MPC整備工事は、組織委員会が設計した工事であり、提示された図面、特記仕様書、内訳書等については、組織委員会が発注者として責任を持って厳密な精査を行っているものと承知している。

都は、都が負担する経費の妥当性等を理解する目的で、以下の4つの項目を中心として、組織委員会からヒアリングを行うとともに、提示された図面、特記仕様書、内訳書により包括的に確認した。

確認の結果、資料作成中などの理由から一部未確認事項があるが、設計の内容については概ね妥当と判断している。確認中の事項については、契約までに早急な対応をお願いしたい。

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	経費負担の基本的な考え方は、平成29年5月31日の合意によることが説明により確認できた。 一方、平成29年5月31日の合意を踏まえると、本工事において都が負担するパラリンピック経費の範囲や仮設インフラ経費の積み上げの仕方が不明であり、説明をお願いしたい。 ⇒平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであることを説明により確認した。（平成30年4月20日）	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	平成29年5月31日の合意によると、組織委員会の役割には「経費分担に関わらず、オーバーレイ、仮設等、エネルギー及びテクノロジーのインフラを整備する役割を担う」とある。IBC/MPCの整備工事は全てが仮設等、エネルギー及びテクノロジーのインフラ整備にあたることから、平成29年5月31日の合意に基づき組織委員会が整備を行う役割を負っている。 なお、本工事以外に東京ビックサイトで予定されている工事はなく、組織委員会以外が行うことによって本工事の効率性が高まる可能性は低い。	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）	必要性 IBC/MPCの整備における延べ床面積として、約50,000㎡となっており、この面積はOBSが示した要件やリオ大会における実績と比較しても小さくなっている。 この点から必要性が明らかな内容に絞り込んで設計されているものと考えられる。	

ど)等の観点から妥当なものであること	効率性	IBC/MPCに必要な施設や設備の内容・機能については、テクニカル・マニュアル等に基づいて検討し、施設や設備の共有化による整備費低減を図り、OBS等との協議を経て決定したとのことであった。 施設や設備の整備内容等の過不足のないものであることを確認するため、決定した経緯となるOBS等との協議の結果について契約までに説明をお願いしたい。 ⇒OBSとの協議、経緯について説明を受けた。(平成30年4月20日)	
	納得性	IBCスタジオ関連施設の機能・仕様(気密性・防振性、電力、空調など)については、要求性能を満たすよう検証して設計されているとのことだが、過不足のない機能・仕様となっていることを確認するため、設計過程について契約までに説明をお願いしたい。 ⇒設計工程により説明を受けた。(平成30年4月20日)	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		工事は東京都財務局の標準仕様書に基づき計画されており、積算にあたっては原則として東京都財務局の定める積算基準・単価や刊行物単価に基づき積算されている。 また見積もりによる単価についても概ね複数社の見積もりを検討して採用していることが説明により確認できた。 一方、積上共通仮設費の内訳、鉄骨の解体工における単価採用の考え方等に不明な点があることや、図面と内訳書の間で数量等に不整合がある可能性もあることから、これまでに質問している内容について、契約までに説明をお願いしたい。 ⇒積上共通仮設費の内訳等の根拠について説明を受けた。(平成30年4月20日)	

※公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

<個別案件確認表（東京都）>

東京都担当確認年月日 平成 30 年 3 月 22 日

東京都作業部会確認年月日 平成 30 年 3 月 22 日

事業名

案件名 IBC/MPC整備工事（NRGFA分）

確認の視点	東京都の見解	備考	
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<p>大枠の合意における会場関係のエネルギーのインフラの整備に係る経費であり、経費については、都所有施設は都負担となっている。</p> <p>組織委員会の説明及び資料から、経費負担の基本的な考え方は、平成 29 年 5 月 31 日の合意に基づいていることが確認できた。</p>		
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<p>大枠の合意において、エネルギーのインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担う。</p> <p>各会場のエネルギーのインフラの整備にあたっては、組織委員会が各会場の状況を把握し、一元的に管理して進めることにより、IOC の基準を把握したうえで、コストの縮減などを考慮した IOC との具体的な調整が可能になり、最も無駄のないエネルギーインフラ整備が可能になる方法となっている。</p>		
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	開催都市契約大会運営要件で求められている安全で信頼性の高い、レジリエントなエネルギー供給を実現するために必要な設備の整備であり、必要性のある整備内容となっている。	
	効率性	最小限の設備構成で大会に必要な電力インフラを実現できるよう IOC や OBS に諮りながら、コスト縮減を実施しており、効率的に進めていることを確認した。	
	納得性	<p>東京都財務局の定める積算基準や単価、刊行物単価に基づいた積算となっており、基準になく見積価格によるものは採用額を精査していることを、確認した。</p> <p>本案件に対する組織委員会の説明から本作業部会まで、時間がない中での確認となっていることから、一部は抜粋による確認となっている。</p> <p>なお、採用額の根拠となる見積りは確認できていないため、契約までに提示をお願いしたい。</p> <p>また、共通費の考え方について説明を受けたが、NRGFA分の内訳が確認できる資料の提示を受けていないため、契約までに提示をお願いしたい。</p> <p>⇒ 内容を確認（平成 30 年 4 月 16 日）</p>	

<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<p>エネルギーインフラについては、大枠の合意において示されている大会開催都市としての責任を果たすべく、経費を負担する項目であり、公費負担に適する。</p> <p>本工事の積算にあたっては、原則として、東京都財務局の定める積算基準や単価、刊行物単価に基づいた積算となっており、基準になく見積価格によるものは採用額を精査していることが確認できた。</p> <p>一方、採用額の根拠となる見積りは確認できていない。これまでに質問している内容とあわせ、契約までに説明をお願いしたい。</p> <p>⇒ 内容を確認（平成 30 年 4 月 16 日）</p>	
---------------------------------------	---	--